



東京神学大学



TOKYO
UNION
THEOLOGICAL
SEMINARY

学校案内 2025





神学において神様を知るときには、
賛美が生まれ、信仰の喜びが感じられます。

こうじろ まさみ
学長 神代 真砂実

哲学の世界で耳にするパラドックス(逆説)があります。「全能である神に、自分では持ち上げられない岩を創造することはできるか」というものです。神には何でもできるというのであれば、そのような岩を創造することもできるはずだけれども、しかし、その岩は神には持ち上げられないというわけですから、神にできないことができてしまう——そのような議論です。

けれども、哲学では取り上げられる、このような問題を神学は相手にしません。そもそも、今のパラドックスにおける神は人間がもてあそぶことのできる、ただの理屈の上での神でしかないからです。しかし、神学において探究されるのは、イエス・キリストにおいて御自身を示してくださった、生ける神様です。

「全能」とは何でしょうか。言葉だけを見れば、確かに「何でもできること」であるでしょう。しかし、神学はイエス・キリストを見つめます。そうすると、全く違うことを言わなければならないようになってくるのがわかってきます。つまり、神様が全能であるというのは——イエス・キリストと、その出来事を通して理解するのであれば——何よりも、人間と、その他の被造物の救いのために人間になって死ぬことができるということなのではないでしょうか。あるいはまた、私たち人間の神様への背きが極限に達した十字架をさえ敢えて私たちの救いのために用いることができるということなのではないでしょうか。そうであるからには、「全能」という言葉も神様に対する賛美の言葉、信仰の告白の言葉であると言わなければならないでしょう。

冒頭に挙げたパラドックスからは、神様への賛美は出てきません。しかし、神学において神様を知るときには、賛美が生まれてきます。信仰の喜びが感じられます。そのような神学の学びを、ぜひ東京神学大学で味わってください。



INDEX

学長メッセージ	P.01
卒業生インタビュー	P.03
東京神学大学の特徴	P.05
東京神学大学の学び	P.07
教員紹介	P.09
学生の1日	P.11
キャンパスライフ	P.13
キャンパスカレンダー	P.15
キャンパスマップ	P.16
奨学金制度	P.17
データで見る東神大	P.18

GRADUATE

卒業生インタビュー

柿ノ木坂教会 渡邊 義彦

1998年東京神学大学大学院修了。
2010年より日本基督教団柿ノ木坂教会主任担任教師。
日本基督教団東京教区議長。

神学校は、教会に仕えるために
いろいろな引き出しを
用意してくれる場でした。

Q1. 牧師を志したきっかけは 何ですか。

祖母、母、妹がクリスチ안의家庭で育ち、開拓伝道の教会に通いました。高校・大学はキリスト学校に進みましたが、大学在学中に注文家具のアルバイトをしていて、それを仕事にしたいと退学しました。専門学校で学んだ後、木工の会社に勤めたものの、受洗をきっかけに、教会のために働きたいと思うようになり、オルガン工房に転職しました。20代後半で、これでいいのかという問いが生まれ、礼拝に行き続けるなかで、牧師という務めもあると祈り始めました。牧師が100%教会に体重をかけている姿を見てすごいと思ったことや、幼馴染が牧師になったことにも影響を受けました。今思い返すと、様々な導きがあったと思います。

Q2. 東京神学大学での学びを 振り返っていかがですか。

1年目は初めてだったので結構大変でしたが、2年目からは楽しかったです。高校や大学では語学や歴史には興味がありましたが、聖書を読むという目的をもって語学を学んだり、教会の歴史という視点で世界史を学んだりして、そういった学びの面白さに気づかされ、のめり込んでいきました。東京神学大学での学びは、教会に仕えるためにいろいろな引き出しを用意してくれて、それをきちんと整理してくれるものでした。教会に仕えるとはどういうことかを神学的に道筋を立てて教えてもらったのは自分のバックボーンになっています。

Q3. 現在はどのような お働きをなさっていますか。

教会では牧師として主日に礼拝説教をしたり、平日に集会を開いたりしています。教会附属幼稚園の園長として、毎朝の職員との始業祈禱や、週1回の子どもたちとの礼拝をしています。また、日本基督教団東京教区議長を務めています。東京教区は教会数が多く、教区全体を見渡すことが難しいので、支区と協力しながら、各個教会に仕えています。

Q4. 牧師としての喜びを感じる のはどんなときですか。

求道者と学びをしていくなかで、その方の信仰告白や洗礼への思いが深まっていき、洗礼へと導かれ、それに立ち会えることが嬉しいです。その方が最初の聖餐にあずかり、同じ食卓を囲んでいる姿を目の当たりにすると、伝道をしていくなかでこういう実りが与えられるのだと喜びを感じます。

Q1. 牧師を志したきっかけは 何ですか。

中学時代、ソウルで開催された世界宣教師派遣祈禱会に、友達と興味本位で参加しました。場違いな集会に来てしまったと思っていたのに、気づいたら「神様、私は日本に行って、伝道します」と祈っていました。その祈りをなかったことにしたかったのですが、大学時代も就職後も頭から離れず、御心が示されるよう祈り続けました。30代になって、日本に行くことが神様との約束だと感じて、仕事を辞め、来日しました。アルバイトをしながら日本語学校で学び、その後は福祉系の大学に通いました。卒業を控えていた頃、神様から「あなたの全てをささげなさい」という思いを与えられました。神様がどのような御方か、どのように御言葉を語るべきかを学びたい一心で、東京神学大学に入学しました。

Q2. 東京神学大学での学びを 振り返っていかがですか。

教会史では専門用語やカタカナ等に苦戦しましたが、勉強したことは今でも頭に残っています。修士論文ではカール・バルトを取り上げました。文献が難しく、分からないことがあるたびに、指導教授である神代先生の研究室を訪ね、助言と励ましをいただきました。大変なこともあったけど、それも含めて東京神学大学に入って良かったです。

「あなたの全てをささげなさい」という呼びかけに応えて。

Q3. 現在はどのような お働きをなさっていますか。

代田教会では、主日礼拝のほか幼児礼拝・子ども礼拝・ジュニア礼拝があり、月に1回は9時礼拝と夕礼拝、全部で6回の礼拝があります。それぞれの説教を、平野克己牧師と私、そして信徒の方々と分担しています。また、毎週木曜日に行なわれる「聖書に親しむ会」、週報作成等の事務的な仕事、幼稚園チャプレンとしての働きも担っています。いろいろな働きをしていますが、何よりも説教の準備と牧会の務めに力を注いでいます。

Q4. 牧師としての喜びを感じる のはどんなときですか。

神様の御言葉を語る喜びが与えられたことに感謝していますし、教会のみなさんと共に礼拝に集い、御言葉を聞くことが喜びです。また、教会に来られない方々を訪問するのも喜びで、お互いに慰められると感じ、力をもらっています。日本で伝道すること、代田教会で用いられていることが何よりの恵みです。



代田教会 裴在伊

韓国・全羅北道完州郡生まれ。
2014年東京神学大学大学院修了。
同年より日本基督教団代田教会担任教師。



FEATURES

東京神学大学の特徴

伝道者養成のための召命共同体

東京神学大学は、キリスト教の伝道者を養成する神学専門の単科大学です。教会・キリスト教学校・キリスト教関係の施設(病院等)で牧師・教師・チャプレンとして働く伝道者を育成することを使命としています。そのために、東京神学大学は、学部から大学院の博士課程前期課程までの一貫した神学教育プログラムを提供しています。東京神学大学は「召命共同体」として、教員も学生も神の呼び出しに応えるために、常に自らの召命を神の前に問いつつ、授業と研究はもちろん、毎日の礼拝やクラスごとの祈禱会を通して、生きた神学の研鑽に励んでいます。



教会と東京神学大学は車の両輪



東京神学大学は、日本のプロテスタント諸教会の良き神学教育の伝統を引き継ぐ大学として、多くの教会によって支えられています。例えば、神学生が必要とする経費のうち、およそ半分は全国の諸教会およびそこに属する信徒の方々からの献金によるものです。このような意味で、東京神学大学は教会による、教会のための大学です。それゆえ、神学生にとって教会生活は大学での学びと並んで重要です。神学生はそれぞれの教会に属しながら、牧師の指導のもと教会に仕えることを学びます。東京神学大学と教会はいわば「車の両輪」として共に協力しながら、伝道者の育成に努めています。

少人数教育と学生の多様性

東京神学大学の教員と学生の比率はおおよそ1:5です。教員が学生一人ひとりの個性や理解度を把握し、その違いに応じて指導したり、質問や相談に丁寧に対応したりできるのは、少人数教育だからこそです。

また、学生の年齢層は20代から70代までと幅広く、入学前の社会経験も様々です。日本基督教団のみならず、他のプロテスタント諸教派からの神学生や留学生も積極的に受け入れています。学生の持っている多様性は、東京神学大学の教育を豊かなものになっています。



キリスト教学校の伝道者を育成

現在日本では、毎年のべ50万人ほどの子どもたち・学生たちがキリスト教学校を卒業すると言われています。そのほとんどは、学校で初めてキリスト教に出会った人たちです。日本のキリスト者人口が100万人ほどであることを考え合わせると、キリスト教学校の働きが日本伝道にとっていかに大きな可能性を秘めているかがよく分かります。学校礼拝や聖書の授業を通して福音に出会うことが、子どもたちの生涯にわたって豊かに実を結んでいます。このかけがえのない務めのために、これからもキリスト教学校の建学の精神を担う教師が、ぜひとも必要です。

東京神学大学では、神学の研鑽と並行して教職課程を履修し、中学校・高等学校での宗教科の教育職員免許状(一種・専修)を取得することができます。聖書科・宗教科教師(教務教師)として学校に遣わされる場合はもちろん、牧師として教会に仕える場合でも、付属幼稚園やこども園の園長、近隣のキリスト教学校の非常勤講師となるよう求められることは少なくありません。その際に、この免許状が資格要件として有効に用いられます。これまでに教育職員

免許状を取得した卒業生の多くは、教会とキリスト教学校との良い協力関係を築き、両方の場において伝道、牧会、教育に貢献してきました。キリスト教学校や教師の働きについて学びを深めるための課外プログラムも、豊富に用意されています。経験豊かな講師陣により、福音信仰に立つキリスト教教育を学んでみませんか。



神学研修志望

東京神学大学では、伝道献身者としての召命を与えられた方だけでなく、信徒として教会により深くお仕えするという召命が与えられた方も、「神学研修志望」という枠で、神学の学びをすることができます。

神学研修志望の学生は、伝道献身志望の学生と同様の科目を履修しますが、学部までの学びとなり、大学院へ進むことはできません。しかし、在学中に伝道献身者としての召命が与えられ、必要

な手続きを経て、伝道献身志望枠への変更が認められた場合には、大学院へ進むことができます。

神学研修志望枠での学びは、伝道献身志望の学生と共に机を並べて学び、召命共同体の中で過ごすことができるという意味で、大きな恵みです。教会のために、信徒としてより深くお仕えしたいという思いをお持ちの方は、ぜひ、神学研修志望での受験をお考えください。

LEARNING

東京神学大学の学び

四つの 学びの分野



神学に欠かせない四つの領域をバランスよく学ぶ

神学は、ギリシャ語ではテオロギアといいます。神(テオス)についての言語・学問(ロゴス)という意味です。しかし、神学は人間の知恵に基づいて神を認識する学問ではありません。神ご自身がイエス・キリストを通して自らを啓示されました。この出来事なしに、私たちは神を知ることはできません。このような神の啓示を前提として、それを謙虚に受け止め、神の言葉に真摯に耳を傾けるところから神学は出発します。

キリスト教の歴史を通して、神学はいろいろな仕方で展開されてきました。現代神学においては、聖書神学・組織神学・歴史神学・実践神学という四つの研究領域のもとで神学という学問が営まれています。東京神学大学では、これらの四領域をバランスよく学べるよう、カリキュラムが組まれています。

聖書は人間の言葉に表された神の言葉です。神学はいつでも聖書の言葉に聞くことを土台にします。聖書神学は、聖書テキストが本来どのような歴史の中で何を告げようとしていたのかを明らかにしながら、私たち自身の聖書解釈を吟味するための学問分野です。

聖書神学

BIBLICAL
THEOLOGY

歴史神学

HISTORICAL
THEOLOGY

歴史神学は、キリスト教会と教会の教え(教理)の歴史を学びます。ギリシャ語やラテン語、また現代の諸言語で書かれた史料を読み解き、史料が書かれた歴史や出来事の相互関係、文化の脈絡を探ることで、何が起き、それにどのような意味があるのかが明らかになっていきます。

四つの 学びの分野

組織神学は、キリスト教の信仰内容を現代の文脈に即して捉え直し、理解を深めていく学問で、「教義学」・「倫理学」・「弁証学」からなります。伝道者に必要なことは、統合的な信仰の深い見識と、それに裏付けられた確信です。組織神学はまた教会の自己吟味として実践神学に論理的土台を提供します。

組織神学

SYSTEMATIC
THEOLOGY

実践神学

PRACTICAL
THEOLOGY

牧師の務めは、神様の実践に参加させていただくことです。神様の実践、すなわち人間が神様の道具として用いられるために、「説教学」・「礼拝学」・「牧会学」・「キリスト教教育学」を学びます。神学諸科を一つの伝道学として統合する働きをするのが実践神学です。

学びの流れ

学部1・2年次

神学校での学びは、キリスト教信仰および聖書についての初歩的な知識の修得からスタートします。学際基礎科目では、多彩な講師陣が学びを支えます。また、神学の学びに欠かせない英語やドイツ語の基礎力も養います。留学生を対象に日本語の授業も開講されています。

学際基礎科目

- 人文科学系
- 社会科学系
- 自然科学系
- 情報科学系

神学基礎科目

現代語科目

教職課程科目

本学では、中学校教諭一種免許状(宗教)・高等学校教諭一種免許状(宗教)を取得することができます。

学部3・4年次

専門教育科目の履修を通して、聖書神学・組織神学・歴史神学・実践神学の四分野を徹底的に学びます。特定の分野に偏ることなく幅広い知識が修得できるようカリキュラムが組まれています。また、神学書の講読を通して、語学力と神学的思考の更なる向上を図ります。最終学年では卒業論文を執筆し、博士課程前期課程に進むための備えがなされます。

専門教育科目

聖書神学

組織神学

歴史神学

実践神学

学部演習(卒業論文)

卒業

大学院神学研究科

博士課程前期課程

博士課程前期課程の授業は、専門的な知識を深めるために講義形式で行なわれるものと、主体的に神学する能力を養うために演習形式で行なわれるもの、その両者を組み合わせたものがあります。さらに、神学校での学びの集大成として、修士論文を作成します。修士論文提出後は、実践神学研修課程において、実践に関わる極めて具体的な諸課題・諸問題についての取り組み方を学ぶことで、伝道者としての職務に必要な実践的な知識をも身に付けます。

聖書神学

組織神学

歴史神学

実践神学

修士論文指導演習

修了

実践神学研修課程

全国各地の
教会、学校へ



博士課程
後期課程

在職のまま博士の
学位取得を
目指すことができます。

FACULTY

教員紹介

- ① 主な経歴
- ② 研究テーマ
- ③ 専門分野の魅力

- … 聖書神学
- … 組織神学
- … 歴史神学
- … 実践神学



詳しくは
ホームページから



なか の みのる
中野 実 教授

- ① 1987年東神大大学院修了。米クレアモント大学院大学宗教学部博士課程(哲学博士)。日本基督教団正教師。2001年に着任、現在、教授。
- ② 史的イエス、福音書、ヘブライ書、新約聖書正典

③ 聖書テキストを歴史的コンテキストから読む作業は常に新鮮で、新しい洞察を得られる貴重な学びとなります。



た な か ひかる
田中 光 教授

- ① 2008年東神大大学院修了。2013年加トロント大学ウィクリフカレッジ修士課程修了(Th.M.)。2018年東神大より博士号取得(Th.D.)。日本基督教団正教師。2015年に着任、現在、教授。
- ② 詩編、解釈史、創世記、預言者(終末論)など

③ 旧約聖書の学びは、汲みつくせない発見と恵みに満ちていると感じています。特に最近、聖書学の分野では解釈史に注目が集まっており、こうした観点から旧約を研究することで教会に貢献できる可能性を感じています。



みや ざ き かおる
宮崎 薫 常勤講師

- ① 2013年東神大大学院修了。2021年東神大博士課程後期課程単位取得満期退学、2024年東神大論文博士学位取得、博士(神学)。日本基督教団正教師。2024年に着任、現在、常勤講師。
- ② 旧約の歴史的物語、ディアスポラ文学、イスラエル12部族の探究など

③ 旧約テキストに埋め込まれたイスラエルの複雑な歴史や重層的な視点を読み解くなかで、なおもご自分の民の生を導かれる神の摂理が見出されます。宝を掘り当てるような営みです。



かわ の かつ や
河野 克也 特任准教授

- ① 1991年東京聖書学院卒。1992年神戸ルーテル神学校卒(M.Div.)。1994年米合同メノナイト聖書神学校卒(M.A.)。1997年米デューク大学神学部卒(Th.M.)。2004年米サザン・メソジスト大学大学院博士課程満期退学。日本ホーリネス教団正教師。2023年に着任、現在、特任准教授。
- ② 新約聖書神学、パウロ思想、初期ユダヤ教、物語批評、共観福音書問題、修復的贖罪論

③ 新約聖書は真空状態ではなく具体的な歴史的状況の中で書かれた文書集です。それぞれのコンテキストのなかで各書の固有の声を聴き分けることができるようになると、聖書を読むことがより一層楽しくなります。



やま ぐ ち のり お
山口 希生 特任准教授

- ① 2011年英University of St Andrews 神学学士(Honours)、2015年同大学より新約聖書学で(Ph.D.)取得。日本同盟基督教団正教師。2025年に着任、現在、特任准教授。
- ② パウロ神学、史的イエス研究

③ 急速な少子高齢化による人口減少に直面している日本は、今後間違いなく移民問題と真剣に向き合うことになります。こうした今日的課題に、実はパウロ神学は大きな示唆を与えます。パウロ神学から現代という時代を問い直していきましょう。



や だ よう こ
矢田 洋子 特任常勤講師

- ① 2011年東神大大学院修了(神学修士)。2017年東神大大学院博士課程後期課程単位取得満期退学。日本基督教団正教師。2022年に着任、現在、特任常勤講師。
- ② 旧約聖書の時間概念、ダニエル書の祭儀的表象と終末論、ダニエル書の二言語性

③ 原語の言い回しに注目し、文章の構造や文書の歴史背景を考慮しつつ旧約聖書を読むと、それまで気づかなかったうれしいメッセージに出会えることがよくあります。



こう じ る ま さ み
神代 真砂実 教授

- ① 1987年東神大大学院修了。英アバディーン大学神学部博士課程修了(哲学博士)。日本基督教団正教師。1998年に着任、現在、教授。
- ② K・バルトの神学、三位一体論、「信じる」とは、日本人とキリスト教

③ 組織神学は他の諸分野の成果を総合し、教会の形成と伝道に基礎と方向を与える役割を担う分野だと言えるでしょう。個人的には、かなり自由に想像力を発揮できるところが魅力ではないかと感じています。



は が つとむ
芳賀 力 特任教授

- ① 1979年東神大大学院修了。独ハイデルベルク大学神学部博士課程修了(神学博士)。日本基督教団正教師。1988年に着任、現在、名誉教授、特任教授。
- ② 聖書の宗教の持つ思想内容を現代社会の中で捉え直し、伝統的教理を物語論の手法を用いて再活性化すること

③ 私たちはキリスト教的<信>の担い手とされています。その信仰内容を体系的に考察し、信仰理解をさらに深めることに努めています。



いい だ あおる
飯田 仰 助教

- ① 2006年米Gordon-Conwell Theological Seminary修了(Th.M.)。2016年東神大大学院修了。2023年東神大大学院博士課程後期課程単位取得満期退学。日本同盟基督教団正教師。2023年に着任、現在、助教。
- ② カッパドキア教父、ジャン・カルヴァンの古代教父理解

③ 歴史神学は、神学を歴史的に深掘りする、大変興味深い探究です。そしてそれは教会に委ねられた営みでもあります。教会に仕えるために、そして教会の伝道のために、と一緒に神学を歴史的に掘り下げてみませんか。



こ い ず み けん
小泉 健 教授

- ① 1997年東神大大学院修了。独ハイデルベルク大学神学部博士課程修了(神学博士)。日本基督教団正教師。2008年に着任、現在、教授。
- ② 苦しみの秘義としての説教学、説教者の霊性論

③ 東京神学大学の神学の特色は、伝道と教会形成に仕える学であることです。そのことのために、神学諸科の学びを総合する場が実践神学です。神の実践を待ち望みながら、神の栄光のために取り組むとき、真の意味での「神学」が生まれます。



す だ た く
須田 拓 教授

- ① 2000年東神大大学院修了。2004～2009年英ケンブリッジ大学留学。2013年東神大博士課程後期課程修了(神学博士)。日本基督教団正教師。2013年に着任、現在、教授。
- ② 三位一体論、救済論、ピューリタン神学

③ 組織神学は、私たちが何をどのように信じているのかを論理的に説明する学問です。学びを通して、教会とは何か、救いとは何かなどをより深くとらえることができます。それによって、ますます喜びをもって福音を伝える者とされることを願っています。



ほん じょう こう た
本城 仰太 准教授

- ① 2010年東神大大学院修了。2016年東神大博士課程後期課程単位取得満期退学。2018年東神大論文博士学位取得、博士(神学)。日本基督教団正教師。2020年に着任、現在、准教授。
- ② ラテン教父(テルトゥリアヌス、キプリアヌス、アウグスティヌス)の神学、使徒信条をはじめとする信条や信仰告白の成立史および受容史

③ 歴史神学を学ぶと、自分が何者かを知ることにつながります。教会の歴史の中で生み出された史料を紐解きながら、何を背負い、何を背負わなかったのかを学んでいくと、今の自分を知ることになるからです。



ウェイ ン ジャンセン
Wayne Jansen 教授

- ① 1990年米Western Theological Seminary, (D.Min./牧会学博士)。米国改革派教会正教師(現在、日本基督教団への宣教師)。2002年に着任、現在、教授。
- ② 多様性のある世界を容認するキリスト者の存在および性的少数者の方々を認める教会

③ 実践神学の本質は愛であり、牧会学とは人間の心に関する牧会を行なうものです。キリストの愛を通して、互いを癒し合うことの大切さに気づき、共に教会を造り上げることが、キリストにある信者の目標であり、喜びです。



なが やま みち
長山 道 教授

- ① 2002年東神大大学院修了(神学修士)。独ボン大学神学部博士課程在籍。日本基督教団正教師。2013年に着任、現在、教授。
- ② キリスト教的人格教育、マルティン・ケーラーの神学

③ 教え込みで信仰に至ることはできないのに、学ぶことなしに信仰に至ることもできないーキリスト教教育の中で働かれる不思議な主のわざを味わい、わたくしたちに託された務めを考えることができます。

MODEL CASE

学生の1日

寮生

伝統的な神学校での 多角的な学び

2025年度 博士課程前期課程 1年 太田 梨人

Q1 東京神学大学を選んだ理由は何ですか？

私は幼い頃から、母教会で教会実習をする東京神学大学の神学生の姿を見てきました。その一人ひとりが教会で献身的に奉仕する姿は、当時から変わらず私の頭に焼き付いていました。そして、当時神学生だった方々が、今は牧師として日本中の教会で福音を宣べ伝えておられます。東京神学大学は、伝統的な神学校として、これまで数々の牧師を輩出している学校です。私自身も、全国の教会のルーツである東京神学大学で神学を学び、神様の御心であれば牧師として教会に遣わされたいという思いが与えられ、入学を決意しました。

Q2 学生寮を選んだ理由は何ですか？

伝道者を志す者として、同じ思いを持った仲間が身近にいることは、とても心強いことです。共同生活は、距離が近いからこそ大変さもありますが、それ以上に、神様に召された者として支え合いながら信仰生活を送ることができる恵みがあります。毎日の寮の礼拝では神学生が奨励を担当し、説教奉仕の経験ができること、また寮の設備が整っており、集中して学べる環境があることなど、すべてが神学の学びの支えとなることから、寮生活を選びました。何といっても、部屋から1分以内で学校に着けることは、寮の強みですね！

Q3 東京神学大学の魅力は何ですか？

東京神学大学での学びは、とても充実しています。ユーモアと知識に溢れた先生方から、毎日恵みに満ちた授業を受けています。また、神学について様々な分野から多角的に学べるので、いつも新たな発見があります。教会生活だけでは知ることができない、神学の奥深さを感じています。学生同士の交わりが盛んなことも、魅力の一つです。1年間でたくさんの行事があり、その度に多様な背景を持った神学生と幅広く交流ができます。何より、全国の教会の祈りと支えによって学ばせていただいていることに感謝しています。

1日の過ごし方

6:30 起床

7:15 寮礼拝

8:00 朝食

8:30 授業

10:05 学内礼拝

12:00 昼休み

12:50 授業

18:00 教会へ移動

19:00 祈禱会

20:00 夕食

21:00 帰宅

22:00 自由時間

23:30 就寝

教員と大学院生が
交代で説教を
担います。

牧師や
教会の方と
一緒に！

自習したり
読書したり…

通学生

召命に応えるための 確かな道筋

2025年度 神学部 神学科 4年 山本 愛

Q1 東京神学大学を選んだ理由は何ですか？

献身しようと考えたとき、真っ先にあった選択肢が東京神学大学でした。というのも、父と母方の祖父が牧師なのですが、ふたりとも東京神学大学(とその前身校)の卒業生だったからです。

とはいえ、それだけを理由に選んだわけではなく、他の神学校も検討しましたし、それぞれに歴史とよさがあると思いました。しかし、東京神学大学には、教団立の合同神学校という伝統や大学という枠組みなど、私に必要なものが揃っていました。自分にとって召命に応えるための確かな道筋だと思ったので、東京神学大学を選ぶに至りました。

Q2 どのように通学していますか？

片道1時間の道のりで、基本的にはバスと電車を乗り継ぎます。時間に余裕があるときは、バスを使わずに歩くこともあります。

移動時間もタスク管理や勉強など、できることをして有効活用を心がけています。

Q3 東京神学大学の魅力は何ですか？

伝道者となるために必要な恵みが、広く豊かに備えられている環境です。寮や図書館があったり、教員免許状を取得できたり、奨学金制度が充実しているということも、その一面だと思います。また、教職員の方々が、神学校での学びと生活に集中できるよう、いつも手厚いサポートをしてくださいます。

神学の学びは、大変なときもありますが、それ以上に価値があります。神学を学ぶことで、献身者としてのみならず、一人の信仰者としても、大いに理解が深まりました。入学前は何も知らなかったと感じるほどで、東京神学大学に導いてくださった神様に感謝するばかりです。

何といっても、いろいろな学生がいます。けれども多彩なその一人ひとりが、神様から召命を受け、教会に仕えることを志し、同じ東京神学大学で学ぶ仲間です。そこには出会いがあり、祈り、祈られる関係があります。

1日の過ごし方

6:30 起床

8:20 登校

8:30 授業

10:05 学内礼拝

12:00 昼休み

12:50 授業

18:00 下校

19:00 帰宅

20:30 夕食

21:30 自由時間

0:00 就寝

授業がみっちりない日でも、
友人と喋ったり、
図書館で
勉強したりしています。

近隣校の学食を
利用することが
多いです。

予習や奉仕の
準備もします。

CAMPUS LIFE

キャンパスライフ

礼拝



2025年度 博士課程前期課程
1年 瀬戸 恵

学生生活の中心としての学内礼拝

礼拝堂に入ると空気が変わります。ここは私たちが共に祈り賛美する場所であると同時に、伝道者となるための修練の場でもあります。神の召しに恐れおののきつつ、神学の勉強を通して、御言葉に聞き、最善を尽くすこと、神に委ねることを心と体にしみ込ませる、そんな学生生活の中心に学内礼拝があります。先生方の説教からは多くを学びます。大学教員と教会牧師を兼務するパワフルな先生も多く、皆、個性的でとても勉強になります。学生が説教を担当することもあり、「人に届くメッセージ」を模索しながら成長する貴重な機会となっています。

教会生活



2025年度 博士課程前期課程
1年 井上 博志

教会に支えられている学び

「教会では彼のために熱心な祈りが神にささげられていた。」(使徒言行録12:5) 地方の教会から神学校に送り出していただいた私は、都会の教会に導かれ、礼拝や祈祷会で賜る御言葉、様々な奉仕、兄弟姉妹との交わりに信仰が養われ、主の御守りの中で生かされています。また、夏期伝道実習や神学校日の奉仕等でお世話になった教会の皆様からも多くのことを教えられました。私たちは、主の御心のうちに献身の志を与えられておりますが、それをたえず祈りによってしっかりと支えてくださっている全国の諸教会があることをおぼえ感謝しつつ、教会に仕える学びに歩んでいきたいと思います。

学生寮



2025年度 博士課程前期課程
2年 内田 幸四郎

学生寮は一つの信仰共同体

東京神学大学の学生寮は、学生たちの生活の場というだけでなく、一つの信仰共同体です。つまりそれは、主なる神様が中心におられ、私たちが互いに祈り合いつつ、歩んでいく一つの群れであるということです。そのことを毎朝の寮拝で確認し、1日1日の歩み、神学校での学びがスタートします。校舎や図書館が近く、神学の学びに集中しやすい環境というのはもちろんです。しかしそれ以上に、学生寮では伝道者・牧会者として召された者としての姿勢を学ぶ場でもあります。

東京神学大学は大学であると同時に「神学校」で、信仰と志を同じくする召命共同体です。
神学校ならではのキャンパスライフの特徴を、神学生の声と共に紹介します。

多様な 教會的背景



2025年度 神学部神学科
4年 渡辺 光

福音宣教という一つの目標

東京神学大学の魅力は多様な考えを持つ人々が福音宣教という目標のうちに一致しているところです。東神大の先生方は改革派やメソジスト、福音派など様々な教派背景を持つため、一つ一つの授業に独自のカラーが存在します。また、東神大の授業は一つの神学的正解を教えるものではなく、学生一人ひとりが自分なりに問題に取り組むことができるような「神学力」を養うものです。学生がそれぞれの疑問や課題と真剣に向き合う機会を与えてくれる東京神学大学は、他教派の教会に通う私にとっても実り豊かな学びの場であると実感しています。

クラス交流



2025年度 博士課程前期課程
1年 原 妃弥子

多様なクラスメイトとの学び

東京神学大学は1学年1クラスの編成です。20数名のクラスもあれば10名に満たないクラスもあり、年齢も10代後半から70代までと幅広く、また信仰が育まれてきた教会の伝統も様々です。そうした一人ひとりの個性の違いを通して私たちは心の柔軟性や広い視野を持つことの大切さを教えられ、豊かな気づきを日々与えられています。また共に主から召命を受けた共同体として繰り返し信仰に立ち返り、互いを尊重し、語り、祈り、励まし合いながら学びを深め歩んでいます。このような友に巡り会えるのも東京神学大学ならではの恵みだと実感しています。

留学生



2025年度 博士課程前期課程
2年 金 賢俊
キム ヒョン ジュン

言語や文化の境界を越えた一つの家族

東京神学大学は、イエス様の名のもとに、言語と文化という境界を越えて一つの家族として集まった共同体です。東京神学大学には留学生を対象とした日本語の授業があるので、日本語だけでなく、日本の歴史・文化・社会等に関する基礎を学べます。そのおかげで、先生方やクラスメイトと交流し、お互いに理解し合うこともできます。また、担任面接、留学生懇談会、留学生のための授業料減免制度等、きめ細やかなサポートを受けられます。このような素敵なキャンパスライフを通じて、さらに日本伝道に相応しい伝道者になれるのではないかと思います。

CAMPUS CALENDAR

キャンパスカレンダー



運動会



青年の集い



全学修養会

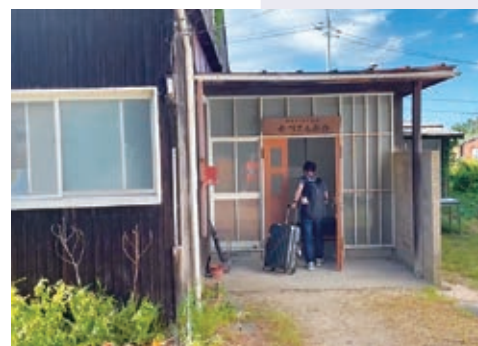
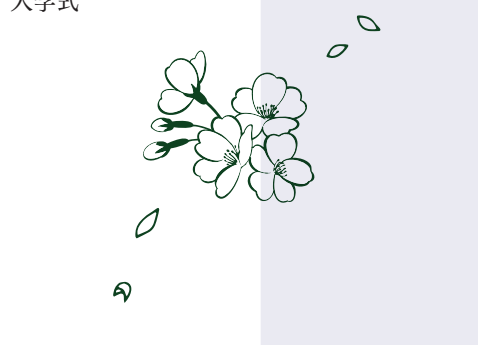


卒業・修了式

- ◆ 入学式
◆ 前期始業式
◆ 神学校全学集会
◆ クラス別懇談会
◆ 初年次教育1
- ◆ 全学懇談会
◆ 学生総会
◆ 運動会
◆ キリスト教学校伝道協議会
- ◆ 日本伝道フォーラム
◆ 全学祈祷会
◆ 博士課程後期課程研究発表会
- ◆ 夏期伝道実習
◆ 壮行祈祷会
◆ 入試説明会
- ◆ 夏期伝道実習
- ◆ 修士論文提出締切
◆ 後期始業式
◆ 日本伝道を担う青年の集い
- ◆ 夏期伝道実習
◆ 報告会
◆ 初年次教育2
◆ 神学校日
- ◆ 全学修養会
◆ 神学校生活懇談会
◆ 入学者選抜
- ◆ オープンキャンパス
◆ クリスマス礼拝
◆ クリスマス愛餐会
- ◆ 教職セミナー
◆ 全学祈祷会
◆ 学生総会
- ◆ 入学者選抜
◆ 大学院
◆ 博士課程前期課程
◆ 博士課程後期課程
◆ 内部入学者選抜
◆ アジア伝道研修旅行(隔年)
- ◆ 入学者選抜
◆ 卒業礼拝
◆ 卒業・修了式



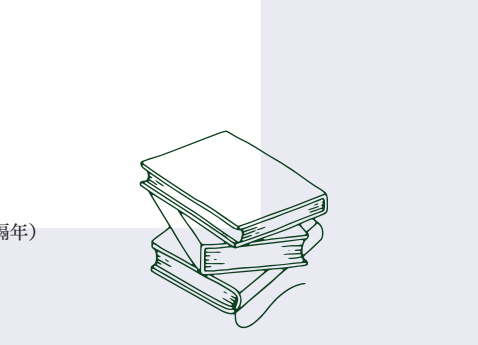
入学式



夏期伝道実習



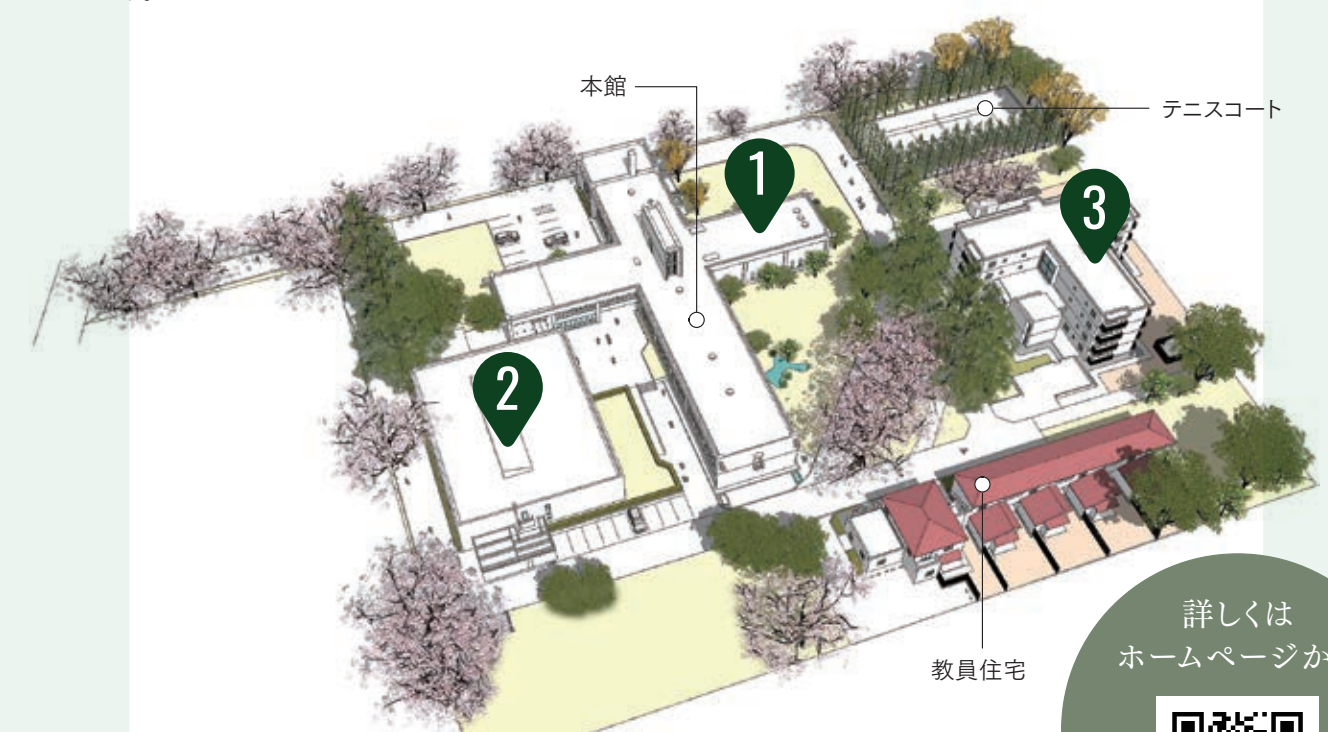
クリスマス愛餐会



CAMPUS MAP

キャンパスマップ

東京神学大学は都心を少し離れた武蔵野の自然の中にあり、神学生は緑豊かで閑静なキャンパスで学んでいます。国際基督教大学・ルーテル学院大学と敷地を接しており、それらの大学の図書館等を利用することができます。



2 図書館

東京神学大学の図書館には、和書51,000点、洋書81,000点、計132,000点ものキリスト教神学専門書が所蔵されています。プロテスタント神学を先導してきた英語圏・ドイツ語圏の洋書も可能な限り備えられており、その数は和書よりも多いほどです。神学の専門雑誌は、英語圏・ドイツ語圏、種々合わせると1,000点以上になります。神学を研鑽するうえで最良の研究環境と言っても過言ではなく、キリスト教の情報センターとして、学外の研究者にも多く利用されています。



1 礼拝堂

神学校生活の要である礼拝が守られるところです。クリスマス礼拝や卒業礼拝では、共に聖餐にあずかります。入学式や卒業式等の行事も、この礼拝堂で執り行なわれます。



3 学生寮

学生の約半数が寮で共同生活をしており、運営は寮生が担っています。毎朝行なわれる寮拝や日々の生活を通して交わりが深まります。

詳しくは
ホームページから



本学では、経済的事情で召命への応答が妨げられないよう、また、学業を続けられなくなるがないよう、奨学金制度を設けています。全国の教会やキリスト教学校、信徒の方々からささげられる献金が、奨学金という形で神学生の学びを支えてくださっています。

■ 主な学内奨学金

名称	内容	過去5年間の平均支給額
入学時奨学金	新入生の前期授業料を補助する奨学金	270,000円
一般奨学金	在学生の前期・後期授業料を補助する奨学金	半期 120,000円
指定奨学金	全国の教会・個人から寄せられた献金を財源として学生生活費等を補助する奨学金	年間 240,000円

※上記のほか、緊急に一時金の必要になった者に対する貸与奨学金の制度があります。

■ 奨学金受給モデルケース

Aさん（**20代／寮生**）の場合



東神大と教会からの奨学金のおかげで、入学初年度の学費を納めることができました。また、生活費を抑えるため、学生寮に住んでいます。

■ 学費（年額）	収入	支出	■ 生活費（月額）	収入	支出
	入学時奨学金 270,000円	授業料 540,000円		指定奨学金 25,000円	寮費 18,000円
	一般奨学金(後期) 120,000円			アルバイト 55,000円	食費 25,000円
	所属教会からの奨学金 120,000円				交通費 6,000円
	仕送り 30,000円				通信費 4,000円
					その他 20,000円
					貯金 7,000円

Bさん（**30代／下宿生**）の場合



大学の近くで一人暮らしをしています。社会人時代の貯金切り崩しが最小限で済むよう、日本学生支援機構奨学金の貸与を受けています。

■ 学費（年額）	収入	支出	■ 生活費（月額）	収入	支出
	一般奨学金(前期) 120,000円	授業料 540,000円		指定奨学金 30,000円	住居費 72,000円
	一般奨学金(後期) 120,000円			日本学生支援機構奨学金 64,000円	食費 30,000円
	貯金切り崩し 300,000円			アルバイト 60,000円	交通費 10,000円
					通信費 8,000円
					その他 20,000円
					貯金 14,000円

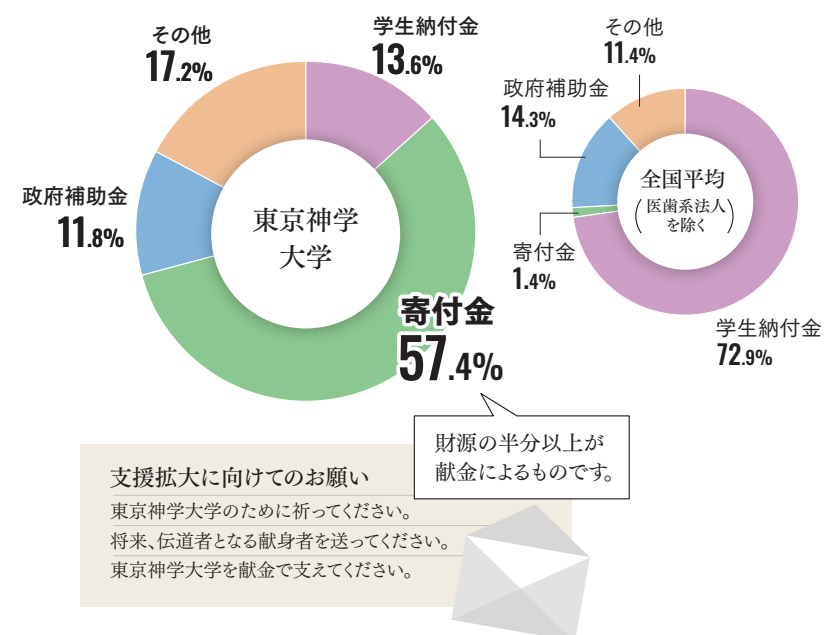
Cさん（**60代／自宅生**）の場合



自宅から通学しています。奨学金をいただいているので、経済的な不安を感じることなく、神学校生活を送ることができます。

■ 学費（年額）	収入	支出	■ 生活費（月額）	収入	支出
	一般奨学金(前期) 120,000円	授業料 540,000円		指定奨学金 15,000円	食費 20,000円
	一般奨学金(後期) 120,000円			年金 55,000円	交通費 18,000円
	貯金切り崩し 300,000円				通信費 7,000円
					その他 25,000円

■ 私立大学経常収入の比較

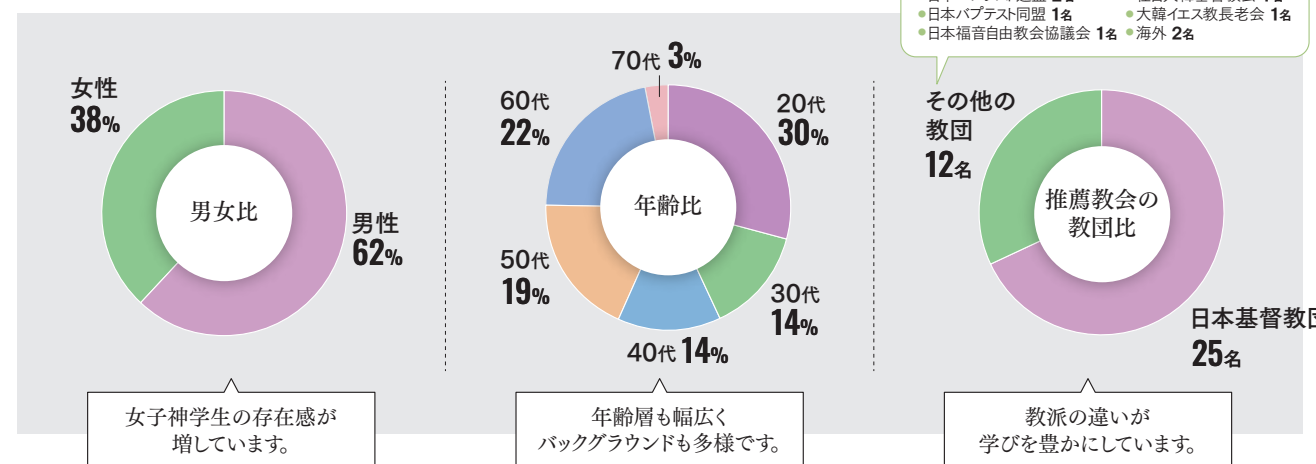


東京神学大学では、全国24地区、39地域で後援会が組織され、教会・信徒の方々へ献金によるお支えをお願いし、毎年約600教会、5,000名を超える方々にご賛同いただいています。また、関連諸団体やキリスト教学校からも献金がささげられています。

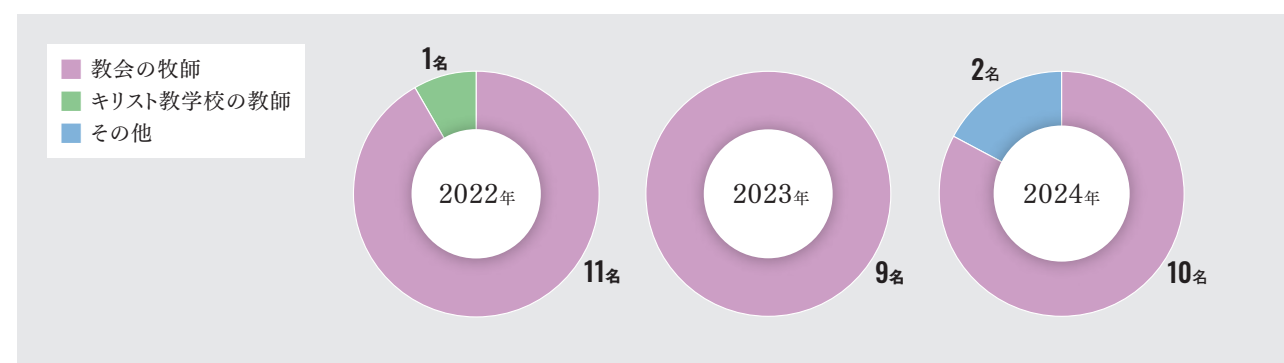
一般的な大学は収入の大部分が学生納付金で賄われますが、東京神学大学の場合、教育研究費・奨学金等の財源の半分以上を献金が占め、財政が支えられています。そのような東京神学大学を支えるために、1960年代から後援会活動が始まり、現在では全国で39の後援会が活動しています。神学校日を中心に、全国で後援会主催の公開講演会が開かれています。教員による講演や大学の現状の説明が行なわれ、全国の信徒の方々との交わりのときとなっています。

※東京神学大学「2023年度決算」および「令和6年版今日の私学財政」より

■ 2024年度 学部生の状況（2024年5月1日現在）



■ 卒業生の赴任状況 大学院博士課程前期課程修了生は、全国の教会やキリスト教学校等の任地へ赴きます。



ACCESS

JR中央線 武蔵境駅

🚆 南口から乗車、約8分

②番のりば: 国際基督教大学ゆき 境93

③番のりば: 狛江駅北口ゆき 他 境91

④番のりば: 吉祥寺駅ゆき 他 吉01

JR中央線 三鷹駅

🚆 南口から乗車、約15分

⑤番のりば: 国際基督教大学ゆき 他 鷹51

京王線 調布駅

🚆 北口から乗車、約20分

⑭番のりば: 武蔵境駅南口ゆき 他 境91

⑭番のりば: 三鷹駅ゆき 鷹51

小田急線 狛江駅

🚆 北口から乗車、約45分

①番のりば: 武蔵境駅南口ゆき 境91



東京神学大学の校章は、ギリシャ語で神学を意味するテオロギア(theologia)という単語をデザインしたものです。テオロギアとは、テオス(theos : 神)についてのロゴス(logos : 言語・学問)という意味です。



大学認証評価

東京神学大学は、2019年度に公益財団法人大学基準協会の大学認証評価を受審し、同協会の定める大学基準に適合していると認定されました。

東京神学大学

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-30
TEL : 0422-32-4185 FAX : 0422-33-0667
E-mail : tuts@tuts.ac.jp
URL : <https://www.tuts.ac.jp/>



東京神学大学では、11月・2月・3月に入学者選抜を行ないます。学生募集要項の請求・お問い合わせは教務課入試係まで。